

■「とちぎ未来創造プラン(仮称)」【第2次素案】のパブリックコメント実施結果について

1 意見提出件数: 6名 計11件

2 主な意見等

項 目	意 見 の 内 容	意 見 に 対 す る 考 え 方
新たな視点について	新たな視点について、「デジタル化」、「新たな日常」、「SDGs」の3つでは少ないのではないかと。 第2次素案 P 44	社会環境の大きな変化を踏まえて、とちぎの将来像を実現するための新たな視点を3つといたしました。5つの重点戦略のもと、18のプロジェクトにおいて、新たな視点を取り入れながら、各種取組を推進して参ります。
教育について	女性があらゆる分野でリーダーとして活躍するための能力開発への支援のため、高校の共学化を進めるべきではないかと。 第2次素案 P 49	男女別学校の共学化につきましては、第二期県立高等学校再編計画に基づき、各高校や地域の実情に応じて行って参ります。
交通について	観光地である日光について、渋滞対策に取り組むべきではないかと。 第2次素案 P 62	本県を訪れる観光客の利便性や満足度の向上を図るため、「観光立県推進プロジェクト」に「観光地へのアクセス道路の整備や渋滞対策の実施」を位置付け、観光地の更なる渋滞緩和に向け、ハード・ソフト両面で対策を講じて参ります。
	バスに対してもっと支援してほしい。(2件) 第2次素案 P 88	「暮らしやすい『まち』づくりプロジェクト」に「地域における持続可能な生活交通の確保に対する支援」を位置付け、市町と連携しながら、地域の実情に応じた公共交通サービスの確保・充実に取り組んで参ります。
	公共交通サービスの確保・充実にについて、コロナ禍以降の生活様式に合わせ、変化させる必要があるのではないかと。 第2次素案 P 88	「暮らしやすい『まち』づくりプロジェクト」において、誰もが安心して快適に暮らし、社会活動が営めるよう、新型コロナウイルス感染症の発生に伴って生じた「新たな日常」を踏まえた公共交通サービスの確保・充実に取り組んで参ります。

項 目	意 見 の 内 容	意 見 に 対 す る 考 え 方
未来技術について	<p>コロナ禍における行動様式・生活意識の変化を踏まえた取組について、未来技術の活用を支援すべきではないか。</p> <p style="text-align: center;">第2次素案 P92</p>	<p>新型コロナウイルスとの共存を求められる社会において、感染拡大防止と経済活動の両立を実現するため、「未来技術を活用した新しいとちぎづくりプロジェクト」を新たに掲げ、未来技術の積極的な活用に向けた環境づくりや地域の課題解決に向けた未来技術の活用に対する支援を行って参ります。</p>